**まちかど　227号　令和7年4月発行号　音声案内**

街角とあなたをネットする暮らしと文化の情報し　まちかど　荏原第一地域新聞

発行・事務局　　荏原第一地域センター

事務局住所　　小山３丁目１４番１号

電話番号　　　３ ７ ８ ６－２ ０ ０ ０

FAX　　　　　 ３ ７ ８ ６－５ ３ ８ ５

各ご家庭に配布しております。一部ずつお取り下さい。次号のまちかどは令和7年6月発行予定です。まちかどカラー版は、品川区ホームページからご覧いただけます。

裏面のQRコードよりアクセス可能です。

**紙面右上掲載記事　題名**品川区功労者表彰　長年の功績をたたえて

**掲載写真**やまだ眼科クリニック　山田 まこと先生と表彰状

**記事内容**

令和6年度の功労者表彰式が昨年10月きゅりあんイベントホールにて行われ、保健衛生功労の分野で、やまだ眼科クリニックのやまだまこと先生が森澤区長より表彰状を授与されました。

　山田先生は、小山四丁目にクリニックを開業以来、20年にわたり嘱託医として近隣の小学校小山小学校・うしろじ小学校・荏原平塚学園・第二えんざん小学校、保育園や幼稚園　中原保育園・こやま台保育園・平塚保育園・荏原西第二保育園・平塚すこやか園)にて、眼科検診を毎年実施し、子ども達の目の見守りに貢献しています。

　子ども達の様子や目の状態の変化について山田先生に伺いました。

　「子どもの近視が近年増加しています。タブレットやスマートフォンの使用などで近くを見ることが増えている生活環境が関わっていると思います。幸いなことに将来失明につながるような大きな病気を持った子どもはいない状況です。視力低下を予防するためには近くを見る作業の時間を決めたり、屋外で過ごす時間を作ったり、遠くを眺めたりすることが大切です。」と仰っていました。

　山田先生は、今後も子ども達の将来の目を守るために、眼科検診を実施していくそうです。

　功労者表彰、誠におめでとうございます。今後もますますのご活躍を祈念しております。

**記事作成者**小山四丁目　あずま　みさえ

**紙面右中央掲載記事　題名**しながわ防災学校 地域防災ステップアップコース に参加して

**記事内容**

しながわ防災学校には「防災区民組織コース」として、地域防災「ベーシック」「ステップアップ」「フォローアップ」の3コースがあります。今回は、前回受講したベーシックコースに引き続き、ステップアップコースを受講しました。受講生は各町会から参加した6名で、2グループに分かれての研修となりました。

研修は、品川区の地図を用いながら「我がまちの防災に伴う危険」を課題とし、その対策について議論し、発表する形式でした。私たちは、防災における自助・きょうじょ・こうじょの役割分担と、それぞれの抱える課題と対策などについて議論しました。また、避難じょの設営や運営方法についても議論しました。

研修の中で、町会の重要な役割について学ぶことができました。それは、日頃から住民同士で良い関係をきずけるよう、手助けをすることです。そして、そのうえで、有事の際には率先して、安否確認や情報収集を行うことです。他にも、地域防災拠点へのスムーズな情報伝達のための体制確保などの重要性についても、学ぶことができました。

改めて、町会の役割を考えるとともに、寺田寅彦の名言「天災は忘れた頃にやって来る」を思い出す良い機会となりました。

**記事作成者**小山三丁目 防災士・澤田 俊一

**紙面中央左掲載記事　題名**花めぐりハナミズキ

**掲載写真**　ハナミズキ　令和6年4月　不動前りょくどう公園にて撮影

**記事内容**

　ひととようさんの歌でも知られるハナミズキは、4月から5月にかけて白やピンクの花を咲かせます。4枚の花びらにみえるのはそうほうへんと呼ばれる葉の変形です。その中心に緑黄色の小さな花の塊であるかじょがあります。やがて小さな花は次々と開花し秋には真っ赤な実をつけます。

　ハナミズキは1912年に当時の東京市長がサクラの苗木を米国に贈った返礼として贈られた木として知られています。東京都立園芸高等学校には当時のげんぼくが百年ハナミズキとして唯一現存します。

　東京都建設局のデータ(令和6年4月1日時点)によると、都内における街路じゅの本数のランキングでは、国道・とどうにおいては「との木」であるイチョウが1位であるものの、道路全体ではイチョウを抜いて、ハナミズキが1位であり、その本数は約6万本です。

　花言葉は「返礼」「永続性」など。

**記事作成者**小山一丁目・かわはら　まさえ

**紙面右下掲載記事　題名**町会活動紹介　楽しかった荏原三丁目町会新春バス旅行き

**掲載写真**佐野厄よけ大師での記念写真

**記事内容**

令和7年1月26日に、町会長を含む46名が参加する、新春日帰りバスツアーが行われました。バスツアーの行き先は、佐野厄よけ大師、小山市イチゴの里、あしかがフラワーパークでした。このバスツアーは8年ぶりの開催であり、会長の挨拶では、企画の再開を喜ぶお言葉がありました。

　バスの中では、お菓子やジュースが当たる、全員参加のくじ引き大会が開催されました。私も景品を頂き笑みがこぼれました。町会長と参加者との会話も弾み、楽しい時間でした。左窓からは富士さん、右窓からは筑波さんを眺めることができ、爽快な気分で蓮田SAに到着しました。SAでの休憩後、佐野厄よけ大師にて記念写真を撮影しました。皆で本堂を参拝し平和を祈願しました。次のイチゴの里に向かう道中、車窓からは野焼きの白い煙が立ち上るのどかな風景が見られました。イチゴの里の大型ハウスでは、甘いミルキーな白イチゴやとちおとめなど5種類のイチゴを堪能しました。その後、あしかがフラワーパークで美味しい料理を堪能し、花の公園を散策しました。まだ花の数は少なかったですが、満開の時期が想像出来るようなスケールに圧倒され、もう一度訪れたいという声も上がりました。あしかがフラワーパークは、樹齢160年の「奇跡のおおふじ」とともに、花と光の楽園として世界中に発信されています。沈む夕日が差し込む帰りの車内は、静寂につつまれていました。最後に会長の挨拶があり、私も平穏と幸せに感謝の心が満たされました。普段お目に掛かることのない方々といちにち触れ合うことができ、町内に対する意識が変わりました。

**記事作成者**荏原三丁目・池田　晴夫

**紙面左下掲載記事　題名**東京都小学校体育研究会　研究発表大会

**記事内容**

東京都小学校体育研究会の研究発表大会が、令和7年2月21日にうしろじ小学校で行われました。本校は令和4、5年度に東京都教育委員会体育健康教育推進校として、また、令和5年度は文部科学省教育課程実践検証協力校（保健領域）としても認定されていました。体育科では「からだづくり運動」を中心に、健康教育では本校が長年にわたって取り組んできたりつよう教育について、研究を進めてまいりました。研究の成果もあり、子ども達は、体育や休み時間以外でも、からだを動かすことの楽しさを感じることができるようになりました。

今年度は、子ども達の主体的・対話的な学びの実現をめざして、東京都小学校体育研究会の研究協力校として研究を進めてまいりました。体育研究会の研究主題「自ら学び続ける力を、仲間とともに身に付けていく体育学習」を受け、本校の体育科教育における学習スタンダードである「うしろじスタイル」の確立に向け、『～「やってみたい・こうやったらできた・もっとやってみたい」の学びのサイクルを通して～』を副主題とし、実践しました。

研究発表大会の当日は、東京都内外の小学校教員、教員をめざす学生、大学関係者、本校保護者、地域のかたなど約500名の来校がありました。全学級公開とし、今までの研究の成果を多くの方々に見ていただくことができました。来校者のかたからは、子ども達がキラキラと表情を輝かせながら、友達と楽しそうにからだと心を動かしている姿に、多くのお褒めの言葉をいただきました。これからも子ども達が「からだを動かすことが楽しい」「もっと運動したい」と感じられるように研究を進めてまいります。

**記事作成者**うしろじ小学校・長谷川　美佐

まちかど　227号　令和7年4月発行号　おもて面　音声案内終了